



## 活動報告

### みやぎのがんサポート団体・専門機関・NPOの紹介パネル展 ～私たちはがん患者さんのためのサポート活動を行っています!～

平成26年6月12～14日 仙台情報・産業プラザネットU展示スペース (AERビル5F)



宮城県内には、がん患者支援を目的として活動している患者会・サロンや専門機関が多数あります。しかし、これらの団体や専門機関等について広く広報される機会は少なく、一般市民のみならずがん患者や家族でさえ、自分たちをサポートしてくれるがん患者会や専門機関についてよくわからない現状があります。

そこで、NPO法人東北臨床腫瘍研究会と当推進室主催で「みやぎのがんサポート団体・専門機関・NPOの紹介パネル展」を開催いたしました。パネル展では、がん患者会・サロンの皆様のご協力を得て、県内18施設・団体のがん患者支援団体の活動情報を展示することができました。

あいにくの梅雨の天候の中、3日間の日程で開催したパネル展には、110名の方々にご来場いただくことができました。献血ルームの帰りにパネル展に寄られたという一般市民の方からは「直接自分や身内ががん患者にならないと関心や興味を持たないテーマです。今回、これだけの活動団体があることを大変心強く感じました。」というご意見をいただきました。今後も、がん患者サポート団体や専門機関の情報が、広く県民の皆さんに届くよう情報発信活動を展開してまいります。

#### パネル展に参加して(感想) りんりんの会 代表 高橋修子さん

県内のがん患者サポート団体・専門機関・NPOの紹介パネル展が今年度初めて開催されました。このパネル展は、がん患者が必要な時に必要な支援を受けることができるように、地域にあるがん患者ののためのサポート資源の広報活動の一環として取り組まれたものです。りんりんの会(大崎市民病院・乳がん体験者の会)も、その趣旨に賛同し、参加させていただきました。

りんりんの会は、がん体験者自身が患者の立場でがん患者を支援している自主的な団体です。今回のパネル展に参加するに当たり、はじめに『一般の方々を含めた来場者に【患者会】の存在を身近に感じてもらうにはどうしたらよいか?』を考えました。そして、たどり着いた答えが、『患者のなまの声を届けたい!』という切なる思いでした。りんりんの会では毎月定例会を開催しており、集まった参加者(患者・主治医)にパネル展への参加について伝え、『患者会ってどんなところ?』と『患者会から皆さんにメッセージ!』の2つのテーマで、それぞれの思いを綴ってもらいました。中でも、主治医から『患者会のおかげで

助けられた方がたくさんいます。医療者だけでは助けられない方もいます。』というメッセージをいただくことが出来、りんりんの会が目指す患者会の形が評価されたようでとても嬉しく思いました。併せて、りんりんの会みんな(患者も医療者も)で参加したパネル展になって本当に良かった!と感じました。

今回参加された他のサポート団体(患者会)の方々も、今まで色々な思いやご苦労がありながら歩んで来られたことと思います。その小さな足跡が消えないよう、またそれぞれの活動が世に広まるよう、今回のようなパネル展を企画して下さった主催者の方々に心から感謝したいと思います。がん患者・サポート団体・医療者・関連機関、それぞれのつながりは、一歩ずつでも、確実に進んでいくことが大事だと感じています。



# 気仙沼がん緩和ケア実践コミュニティ 第2回カンファレンス

平成26年5月26日 気仙沼市立病院 4階会議室

気仙沼市立病院がんケア委員会・がん相談支援センターと当推進室主催で「気仙沼がん緩和ケア実践コミュニティ」第2回カンファレンスを開催いたしました。「がん相談支援センターの活動の実際」をテーマにしたカンファレンスには58名の方々にご参加いただきました。

気仙沼市立病院がん相談支援センターのMSW岩淵巧氏より「がん相談支援センターの現状報告」と、同センター佐藤洋美氏より「社会資源とは～がん患者との関わり～」についてお話いただきました。報告を受けて参加者でディスカッションを行い、「がん相談支援センターの役割について理解が深まった。さらにセンターの活動を周知していくことが必

要である」や「がん相談内容を分析し、医師や看護師に患者のニーズをフィードバックしてほしい」など活発な意見交換がなされました。



## 平成24～25年度 東北大学病院がんセンター 先進包括的がん医療推進室報告会

平成26年6月12日 ホテルメトロポリタン仙台

平成24年4月に東北大学病院がんセンターに設置されました当推進室は、第二期宮城県地域医療再生計画に基づき2年間の活動を終了しましたが、皆様のご支援とご協力のおかげで、平成26～27年度も同再生計画の支援のもとに活動が継続されることになりました。皆様からのご支援とご協力に心より感謝申し上げます。



当推進室の継続に当たり、これまでの活動の一区切りとして、平成24～25年度の活動報告会を開催いたしました。報告会には、激しく雨が降る天候にも関わらず、お世話になりました関係機関の皆様にご出席いただきました。ご出席者の皆様からは、2年間の活動に対する暖かなお言葉と、これからの活動に向けてのエールをいただくことができました。

これからも、多くの方々に支えていただきながら、当推進室は宮城県のがん患者支援活動に取り組んで参ります。今後ともご支援いただけますようよろしくお願い申し上げます。

### 編集後記

COP通信をご覧になっていただき、誠にありがとうございます。

当推進室は3年目を迎えました。今年の4月より規模は縮小はしましたが、活動は広がりを感じています。これもひとえに皆様のご支援あってこそと、感謝いたしております。

当推進室だからこそできる仕事を、皆様からのご意見を頂戴しながら進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の夏は梅雨が長く暑さも厳しいとの予想です。皆さまお体ご留意ください。（看護師 吉田久美子）

#### 【発行元】

東北大学病院がんセンター  
先進包括的がん医療推進室

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1  
Tel: 022-717-8885 (直通) Fax: 022-717-8886  
E-mail: cancercenter@hosp.tohoku.ac.jp

#### 【編集委員】

真溪淳子 / 吉田久美子 / 高橋恭子

